

2016 年度

コノテラ通信はコノミヤテラスの日々の出来事や地域の情報をお知らせする通信紙です。その通信に見立て「協働する学生のチカラ版」として活動をご紹介します。

コノテラ通信

協働する 2016
学生のチカラ版 6

コノミヤテラスのインタビュー記事！
咲く南花台HP

南花台ってどんな街？

おしえて南花台ココ！

南花台地域を眺める。中心にUR団地を抱え、戸建て住宅が周辺を囲む。



やりながら考える つくり続ける段階的改修

コノミヤテラスは2015年の10月に開設されましたが、その後も2期工事、3期工事と改修を続けています。一度に大規模な改修を行うのではなく、小さな改修を続けていくことで、常に変化に対応できる仕組みと空気をつくらせていきます。現在はフリースペースとしての木の部屋、貸出を行っている緑の部屋、赤の部屋という3つの部屋を活用しています。地域にも少しずつ広まり始め、様々な活動が行われるようになりました。



普段のコノミヤテラスの様子(木の部屋)。



月に一回子育てサロンが開催される。



(赤の部屋)
たいしろうのバー、持ち寄り形式のごはん会



パン教室。食を通して健康をサポート。



コノミヤテラス運営研究会。



スイカ割り大会の様子。外も活用する。



毎朝10時のラジオ体操。多世代多分野の交流の機会となっている。



コノミヤテラスは店内にも影響。

買い物応援プロジェクト

2016年12月からスタートした買い物でお困りの方のお手伝いをするプロジェクト。具体的には、買い物は自身でもらい、買ったものを一緒に歩いて家まで運びます。大切にしているのは、コミュニケーションを取りながら一緒に帰るといこと。利用される方も「買い物を楽しみました!」と喜んでおり、応援する方もやりがいを持って取り組んでいます。



地域主体のProject

社会学部与謝野教授による生活満足度調査の分析。



買い物応援の様子

コノミヤテラスの28年度の活動

「コノミヤテラス」は2015年10月3日に、誰もが気軽に立ち寄れる地域のコミュニティ拠点としてオープンしました!(当日コノミヤテラスに名前が決定!)住民・学生・行政・企業... いろんな団体、人が協働で365日オープンの拠点を目指します!拠点はできたばかり、やりながらいろんなことを考えていきます!

...のほんの一部です

28年度のコノミヤテラスの活動

4月	<ul style="list-style-type: none"> □ スマホタブレット講習会 □ 旧南花台西小学校改修案検討開始
5月	<ul style="list-style-type: none"> □ コノミヤテラス運営研究会スタート以降、毎月開催 □ 小さなつながりゼミ①開催 □ すまいるルームスタート以降隔月開催
6月	<ul style="list-style-type: none"> □ 小さなつながりゼミ②開催
7月	<ul style="list-style-type: none"> □ コノテラ通信創刊(以後毎月発行) □ 家台コンペ開催
8月	<ul style="list-style-type: none"> □ 小さなつながりゼミ③開催 □ 家台づくり □ ふれあいプラザ塗ってみよう会 □ 南花台夏祭り参加
9月	<ul style="list-style-type: none"> □ たいしろうのバースタート □ 咲く南花台健康クラブスタッフ会議(以降毎月開催)
10月	<ul style="list-style-type: none"> □ 家台 de 外ラボガーデン □ 家台朝ごはん会 □ コノミヤテラス自律運営に向けた有料化
11月	<ul style="list-style-type: none"> □ 家台・まちづくりオープン会議参加
12月	<ul style="list-style-type: none"> □ 買い物応援プロジェクトスタート □ 咲く南花台報告会(市役所)
1月	<ul style="list-style-type: none"> □ 咲く南花台健康クラブ健康クラブポイントスタート
2月	<ul style="list-style-type: none"> □ コノミヤテラス第3期工事
3月	<ul style="list-style-type: none"> □ ありがとうの会 □ 咲くピクニック弁当・スポット開発



ノルディックウォーク



椅子エクササイズ

地域主体のProject



健康スタッフ

咲く南花台健康クラブポイントカード
好評のポイントカード

咲く南花台健康クラブでは、地域全体の健康意識を高めること、健康寿命の延伸を目標とし、様々な取り組みを行っています。コノミヤテラスは、タニタの体組成計を利用してきたり、健康クラブの活動場所として機能しています。現在は地域の医療福祉関係の有資格者のボランティア健康スタッフの方々による「まちの保健室(仮)」の立ち上げに向けた調整が進んでいます。

家台づくりプロジェクト



学生主導のProject



地域の大人と子供達と一緒に。

約1ヶ月かけて家台は完成した。



朝ごはん会の様子



南花台の気持ちのいい場所を探し続ける。

家台(やたい)づくりプロジェクトは、「南花台の外をもっと楽しく使いこなしたい!」という思いから、外を使いこなすためにホーム(家)を持ち出すツールとして、「家台」を作ろうというプロジェクト。小さな公園や遊ぶわけにはいかない道路や空き地を、もっと楽しく、もっと自由に使うことを目指して、家台を引いて、いろんな場所を使いたいと思います。

2016年10月からは「朝ごはん会」を不定期で開催しています。南花台にある気持ちのいい場所を探し出し、そこで朝ごはんを食べるといもの。朝ごはんの中で普段テラスに来られない方と交流し、意見を聞いたり、情報発信したりしています。

咲く南花台って?

HPでチェックできます!
咲く南花台.com
http://nanakadai.com/5ac



旧南花台西小学校リノベーション

「地域と耕す丘の上の看護学校」

”丘のまち”での看護学校誘致に向けた、小学校校舎の改修を行った。

既存小学校は周辺住宅地に対して閉鎖的な構えをとっており、ガラスが多用された中庭空間も学校内側のみ開かれた状態であった。300人以上の学生を抱える看護学校誘致が町に与える影響は大きい。若い世代がまちの中を歩くことで活気付いたり地域経済の活性化も想定される。ニュータウンの未来のためにも、地域と連携できるまちに開かれた学校のあり方が求められる。これからの学校は地域に開かれた環境であるべきであり、だからこそ持続性を保つことができるのではないか。地域と連続性をつくりだす改修計画を進めることとなった。



- 塗り分けによる分節**
 塗り分けによる分節を行い、周辺とかけ離れたスケールの建物を地域と寄り添うような建物にする。全体をチャコールグレーとホワイトのツートーンの塗り分けにより、モダンな印象となるようにした。
- フリースペースの配置**
 まち側とグラウンド側にフリースペースを設けた。学生同士の交流の場になるとともに、周辺地域から見える位置に配置することで、学生たちの気配が地域にしみ出し、連続感を作り出す。
- 多様な場所を生み出す**
 様々な設計者や学生の提案で実現した看護学校は、それぞれの設計者の違いが出ており、均質ではない、多様な場所が生み出されている。



南花台地区に居住する高齢者などが集う憩いの場。その移転に伴い、新たなプラザの建物の改修計画を研究室学生を中心に行った。お披露目は家台の完成披露と合わせて行われ、屋外空間の新たな活用の可能性を感じてもらえる機会となった。

新ふれあいプラザ



男山で協働するチカラ

平成 24 年度から継続的に関わり続ける男山地域のまちづくり。平成 28 年度の協働する実践をここにまとめています。



だんだん通信 11 月号より

だんだんテラス開設3年！

11月16日をもって、だんだんテラスは開設3周年を迎えます！
「気軽に集まれる場所」を目指し、365日×3年（今年はいよいよ年なので11日）11096日
ひらき続けることで、元々空き店舗だった場に「だんだん」と人が集まる風景がうまれています。

協働する学生チカラ①
だんだんテラスの運営
H25.11～

365日オープンな「気軽に集まれる場所」として開設した「だんだんテラス」
学生と住民による協働運営の可能性を探りながら、運営開始から3年が経過しています。



学生、住民が力を合わせてだんだんテラスを運営しています！



開設当初の様子



やってみよう会議の様子



現在の様子

気軽に集まって、地域について考え、何かやってみる！

協働する学生チカラ②
だんだん通信の制作
H26.4～

男山地域全域 10,000 部発行する「だんだん通信」
学生の表紙写真、住民のコラム、UR 都市機構、八幡市、関西大学によるプロジェクトの情報等を掲載しています。

男山の人模様／

男山 新住民の つぶやき

男山を初めて見に来た時、二
中の横の緑道で清掃活動をして
いる中学生たちと出会いまし
た。何人も「こんにちは」と挨拶
をしていただいて、京都市で
はそんなことはないの、びっ
くりしたと同時にうれしくなっ
たのを思い出します。
男山の子どもたちはよく遊
び、よく挨拶し、明るく、敏捷で、
とても素敵ですね。子どもが健
康で、社会性が身につについて、
勉強ができる環境があり、好き
な活動ができる、そういう地域
にますます磨き上げていきたい
ですね。
この頃は用事で京都に出かけ
ても、樟葉の駅に降りるとホッ
とし、A棟の緑道に降り着くと、
空気がいいなあ、京都市はきれ
いだし文化も豊かだけれど、男
山も捨てがたい魅力がある、と
心が落ち着きます。男山の人た
ちは気さくな方が多いように感
じます。高齢者の方も、人生の
経験を生かして、それぞれがで

きることで地域を豊かにするこ
とに役立つと、周辺にそのよ
うな試みをしている所が何力所
かあります。今でも十分いい所
ですが、住民がその良さを再認
識すれば、ますます住み良くな
る条件に恵まれています。
先日、緑道を歩いていると、
中学生、高校生たちと高齢者の
方、市役所の職員、警察官が集
まって団地内の清掃活動をされ
ている姿をみかけました。清掃
活動を通して、色んな世代が交
流をもてる機会が男山にあるん
だなあと感じました。「清掃」
1つとっても、こうして人が集
まることができることもあるし、個
人の心がけで出来ることもあります。
例えば階段の入り口あた
りの不要な物を整理し、掃除し
てみるだけでも気持ちよさが
違ってくるように思います。



だんだんテラスに集まる子どもたち。
学年問わず集まって遊ぶ姿をよくみかける。



協働する学生チカラ③
男山やってみよう会議
 H27.3~

H27・28 活動記録集より

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 2017年 17年 1月 2月 3月

コラボレーション
 「男山秋祭り」で男山商店連合会とコラボレーションをしました。

会議スタート	× DIY 解散	10チーム結成	8/13 竹風鈴	8/20 紙すき	10/15 竹ドーム			
	● 夢プロジェクト		8/4 液状化実験	10/15 おいしい非常食	3/5 くすのき地区防災訓練			
	● 防災		8/28 泥松稲荷	10/9 円福寺	10/20 万人講	12/22 円福寺	1/19 石清水八幡宮	
	● まち歩き		7/9 UR番里団地見学	11/10 UR磯無団地見学				
	● 4/23 えんま堂		5/～毎月第1日曜日 こども食堂	8/～夏休み平日 こども食堂	12/～毎月祝日 こども食堂			
	● だんテラ拡充・継承		6/8～毎月8日 だんだん手作り市	10/15 秋祭り手作り市				
	● こども食堂		5/22～Instagramでの情報発信	10/15 ハロウィンメイク・コンテスト				
	● 手づくり市		6/18 ピクニック	7/16 ラジオ体操	8/13 涼む	10/15 キャンドルナイト	12/17 リースづくり	1/21 草木染め
	● 8-gramm							
	● 緑道 de 遊び隊							
● 団舎芝居								
● フォークソング	毎月第4日曜日 だんだんフォーク							

活動報告会

派生 毎月第3水曜日 だんだんみんなで歌ってみよう
 参加者の声によって活動が展開しました。

協働による実践 「やってみよう会議」

「男山やってみよう会議」は、「住みたい、住み続けたい男山地域」であるために、幅広い世代が集い、まちづくりの方向性や自分たちに何ができるかを話し合い、できることから「やってみよう」実践型の会議です。

平成27年度3月から、毎月第3土曜日に定例会を行い、これまで27回の会議を重ねてきました。

「男山地域がより住みよくなるために自分ができること」を考え、想いを共感できるメンバーでチームを組み、協働することでしかなし得ない活動が展開され、現在10チームが実践に取り組んでいます。

メンバーは、20代～80代と幅広い年齢の方が集まっています。また、地域住民だけでなく、他地域で市民活動を行うNPOや専門性を持ち合わせた京都府建築士会といった多様な主体との協働もやってみよう会議の特徴であり、「内と外の変化」が期待されています。

だんだん通信 12月号より



協働する学生チカラ④
ダンチ de コソダテ
 H26.4~

大田美奈子 関西大学大学院2回生
 松下航大 関西大学4回生
 松原一樹 関西大学大学院1回生

取材を受けているのは、今年の設計に携わった学生達。取材場所となったこの住戸も今年度募集のリノベーション「住み続けたい住まい」(A50-504)です。一般モデルルーム公開、入居者募集は、1月下旬を予定。



A47-206
 インナーバルコニーのある住まい
南側の1部屋を生活を楽しむ玄関先にリノベーション
 玄関からバルコニーまでをひとつなぎにしました。いろんな人・ものできごとを受け入れながら他者とつながる場所を考えました。

注目度の高いポイント
水回り をサキドリ!



A47-503
 ロビーラウンジのある住まい
趣味や仕事の場と居心地のいい生活の場を1つの住まいに
 雰囲気異なる2つの大きな部屋が、1つの住まいに共存することで、メリハリのある暮らしを実現できる住まいを考えました。



昨年、一昨年と見学者から注目の高かった水回りは、今年も色々と工夫を凝らしています。

UR都市機構と協働 リノベーション住戸

男山団地A地区において、関西大学団地再編プロジェクトとURによるリノベーション住戸が完成し、1月下旬に一般モデルルーム公開、入居者の募集を行います。

今年の住戸は「暮らしを楽しめる空間」がそれぞれの住戸に用意されており、自分のライフスタイルに合わせて、多彩な暮らしが実現できるプランとなっています。

その中の一つ「住み続けたい住まい」では、男山の豊かな外部環境を取り込む窓、対面型のキッチン、襖や壁のアクセントカラーなど、これまで改修したリノベーション住戸で好評だった改修を取り入れて設計しました。

部屋の中からは、カラフルな駐輪所の屋根やバルコニーの手摺が見え、実際の広さ以上の奥行き感をうんでいます。

1月には、設計に携わった学生による「リノベーション住戸内覧ツアー」も予定しています。詳細は、だんだん通信1月号に掲載しますので、ぜひご覧ください。

丹波 関西大学佐治スタジオ・学生・地域の協働

佐治スタジオ 10周年企画

佐治スタジオが設立されてから、今年で10年目になります。10年活動していると、地域の様々な人に支えられていることを実感します。その感謝を伝え、今後もたくさんの人と協働していきたいという想いを込めて、今年度は10周年企画として様々なイベントを開催しました。佐治スタ誕生祭や大学で10周年報告会を開催したり、10年間を365日に凝縮まとめた本「SAJI STUDIO 10years Daily memory」を制作しました。

佐治スタジオ 10年の変遷

2006	シナリオ丹波で丹波市長賞を受賞
2007	佐治スタジオ開設 現代GPに採択
2008	佐治スタジオ 1、2階の改修完了
2009	本町の家改修開始 佐治農園開設
2010	2009年度で現代GPが終了
2011	佐治倶楽部の発足
2012	さじっこ倶楽部が発足
2014	本町の家第2期改修開始
2015	衣川會館改修開始 衣川會館第二期改修開始
2016	佐治スタジオ 2代目室長

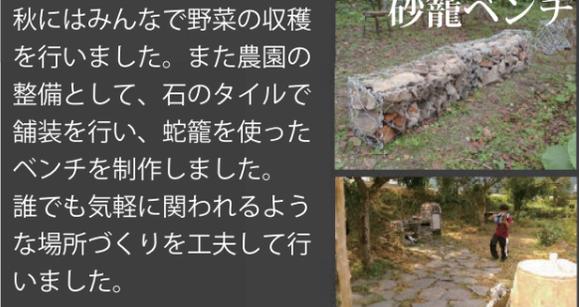
佐治農園 Re活用 project

昨年から再始動した佐治農園 Re活用 project。今年は野菜の栽培や農園の整備、小屋作りに加え、学生や地域の人を巻き込めるように尽力しました。佐治農園には院生から2回生までが関わっており、自分達で整備の内容を決めて取り組んでいます。休耕地を活用することでこの場所が誰かにとっての居場所になること、学生にとっては野菜の収穫を通じ、丹波で食の魅力を感じ関わり続けられる場所になることを目指しています。



サツマイモ

収穫祭では佐治農園にあるピザ釜使ってピザを焼きました。地域の方や卒業生など様々な方が参加してくれました。また、衣川會館でも同時にイベントがあり、ピザを渡しに行った後に農園の活用についてヒアリングを行いました。地域の方々には家で畑を持っている人が多く、農作業的なイベントは難しいと感じました。ですので、そういった農作業とは別で、普段できないような農園の活用の仕方を地域の人に発信していきたいと思いました。



砂籠ベンチ

秋にはみんなで野菜の収穫を行いました。また農園の整備として、石のタイルで舗装を行い、蛇籠を使ったベンチを制作しました。誰でも気軽に関わられるような場所づくりを工夫して行いました。

衣川学級

毎年、佐治スタジオでは年に八回、佐治の魅力を知ってもらうために地域交流ワークショップを開催しています。内容は学生と佐治スタジオのスタッフが一緒になって考えており、今年は「衣川学級」と題して、地域資源が豊富



①ペンキ塗装



②丹波布



③ミニ屏風づくり



④土壁左官

2016年度、佐治スタジオと建築環境デザイン研究室、地域の方々が協働したプロジェクトを紹介します。

7/3 佐治スタ誕生祭



2007年7月1日で佐治スタジオ設立10年になりました!当日は関西大学のOB・OGの方々やお世話になった市役所、地域の方々が参加し、佐治スタ誕生祭を開催。10年という歴史を刻んできたこの場所が、色々な人にとっての「帰ってこれる場所」になっていることを実感しました。

12/10 10周年シンポジウム

「～関わり続けて10年～丹波で地域再生を考える」というシンポジウムを開催しました。当日は、地域連携センター長の品川先生や丹波市の鬼頭副市長など、たくさんの関係者の方々や学生、地域の方々が参加。これからの展望などを参加した人たちと共有できたことが大きな成果だったように感じています。



12/29 10周年 book



「SAJI STUDIO 10years Daily memory」は10年間の記録から365枚の写真を厳選し、日にちごとに並べました。本の厚さが今までの活動の厚みであると感じる本になりました。

田万川テラス

山口県萩市田万川にて縫製業を営まれているナイスコーポレーション田万川工場の一部を従業員が休める場所に改修しました。将来的には集落の人たちが集まれるコミュニティ拠点になるかもしれません。佐治スタジオは丹波だけでなく様々な場所で活動しています。

第1期 (3/21-27)

従業員の方々の好きな色をヒアリングし、個人ロッカーの塗装を行いました。また、同時進行で天井を黒色に塗装、床に杉板を貼っていきました。好きな色を塗ることで、個性溢れるここにしかないロッカーが誕生しました。



第2期 (9/12~16)

今回は途中だった床貼りと屋外デッキを作成しました。デッキは外から入りやすい空間・風景との連続性を考え、スタディ・議論を繰り返して、現場で判断しながら施工を進めました。



第3期 (12/16~18)

最後の仕上げです。床を張り、ロッカーにも木を貼りカウンターや畳ベンチを制作しました。最後まで仕上げると、木質の手作り感がある暖かい空間ができたように感じます。今後カフェになるのが楽しみです。



な丹波を一つの学校に見立てて、プログラムを考えました。地域に住む職人さんや特技を持つ人を先生として招きレクチャーやワークショップをしてもらうという内容です。表具師さんにミニ屏風の作り方を教わったり、紅葉で生花をするなどここでしかできないワークショップを開催しました。



⑤丹波の味覚



⑥八宿祭り



⑦生け花



⑧山の生命 研究会



ATACOM7

ウルトラ
テーマ 『超 ATACOM』

制作合宿 8月17日～25日 軽トラ市 10月30日
愛宕祭 8月23日～24日 忘年会 12月25日

7年目を迎えた ATACOM

今年のテーマは『超(ウルトラ)ATACOM』。これまでの蓄積から自分たちの「らしさ」が見えてきた昨年。そこから更に一線超えた活動を繰り返したいという思いを込めました。ツクリモノも、関わる幅も、町の人との関係も、「超(ウルトラ)な」ものになったと思います。



空き容器一式で造る『ウルトラマン VS ゴジラ』

審査会での大接戦の末、今年のツクリモノが決まりました。ATACOM 史上初となる、2つで一つのツクリモノ。更に、「動く」「座れる」といった新たな可能性にも挑戦しました。



学校でも会議を重ねます。



審査会は今年も白熱！



■座れる！くぐる！大迫力のゴジラ

ゴジラでは、これまでのような空間的な見せ方に加え、尻尾に座れるなど『使える』要素を実現することができました。表現に苦労した本体も大迫力で、子供たちが大喜びでした。



空き容器で造る空間は子供たちの居場所。



尻尾に座ると町の様子を眺めることができました。

■ウルトラマン、ガレージの外へ！

祭の最後にウルトラマンの糸を外して町中を担いで歩きました。造り物が町を回るのは長い愛宕祭の歴史でも初。ツクリモノの可能性を示すことのできた象徴的な出来事でした。



地元の子供たちも一緒になって練り歩きました。



町の造り物に会いに行ったり。大人も楽しんでくれました。

■WS&ウォークラリー

お祭りではツクリモノの向かいで家灯籠を作るWSを開催。毎年恒例成松ウォークラリーでは町の魅力を発信できました。



アタコムゼン

■軽トラ市にて“ATACOM7 報告会”



合宿で食べていたブレッドを販売。



動画やブックも展示し多くの人に来てくれました。

10月の軽トラ市では、町の人への報告として愛宕祭やATACOMの活動写真を展示しました。祭を懐かしむ人、初めてATACOMを知った人など沢山の人の目に留まりました。

■成松の皆さん主催の“ATACOM 忘年会”



学生も町の人と一緒に楽しみました。



今年が最後の学生に卒業をしてくれました。

年末には町の人々が学生を招いた忘年会を企画してくれました。地元の美味しい料理を食べながら愛宕祭の様子を写真と映像で振り返り、より一層繋がりが深まりました。

■まちの人と「一緒に」作り上げた ATACOM 7



材料提供の際に置手紙をくれる人も。



ツクリモノに苦戦中に自転車を貸して頂き助かりました。



丹波市の方が練習の浴衣を頂きました。



忘年会での集合写真は今年を象徴する一枚。

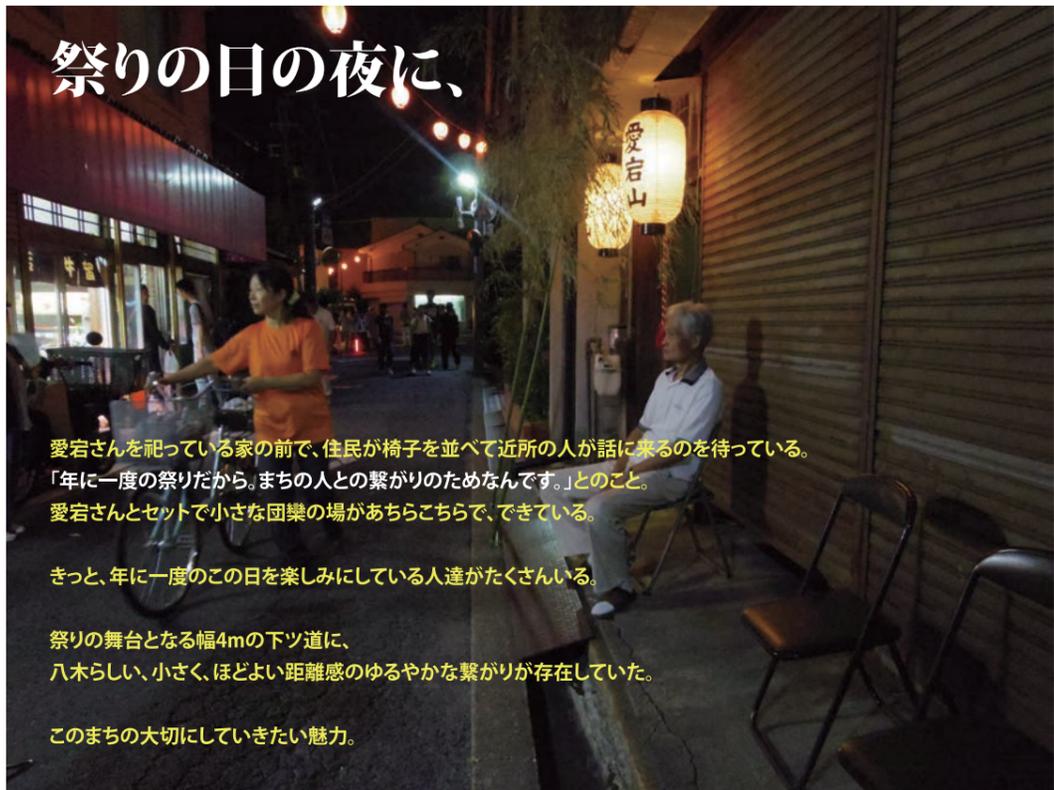
今年は歓迎会や練り歩きへの招待をはじめ、制作中にも快く材料を分けてくれる方、籠や自転車を貸してくれる方など、色々な場面で成松のみなさんに助けられた年でした。7年の時間を経て、町の方々と一緒に作る活動になったと思います。



八木 lab. 2016

年に一度に愛宕祭は、みんなが自分のまちの今、昔、未来について考え直す良い機会になるのではないか？そんな思いを込めて「鏡」と「キャンドル」を使った立山を造った。

毎年、夏前に八木を訪れる度に感じることは「また、空き家を取り壊されてアスファルトで固められた駐車場が増えている。」ということだ。そのような状況の中、今年造る立山では自分の町を見つめ直すきっかけをつくれなかと、幅広い世代が楽しめるキャンドル作りのワークショップで、町の人に気軽に立山づくりに参加してもらおうと考えた。しかし祭りを終えた後、立山に用いた材料の後仕舞いの仕方など、課題も多く感じる年となった。収縮していく立山の文化は、何らかの変化が求められている。学生は次の段階へのステップを踏み出さなければならない。



2013年から始まった、晩成小学校での「立山づくりワークショップ」は今年で4年目となる。子ども達に、みんなでひとつのものを造る楽しさを知ってもらい、子どものときに経験した楽しい記憶が未来の八木につながるように、との思いで授業を企画している。子ども達は町の希望。若い世代が、地元へ愛着を持ったり町の魅力に気づく、きっかけをもっと増やしていくことで、将来の八木のまちづくりに貢献したい。私たち関大生に出来ることは何か？学生自身がそのことを真剣に考えて実践する必要がある。





Project OSC 2016

すだれの庭

今年度のコンセプト「都市の居場所」

大阪駅の時空の広場の使い方を考え実践する Project OSC も 5 年目となる。今までに時空の広場で「風車」「漁網」「あかりと円卓」などなどを使ってこの場所の使われ方を考えてきた。今年には特に、人がゆっくりとたまる場所がこの都市空間の中に作れないかということからコンセプトを「都市の居場所」とし活動をした。

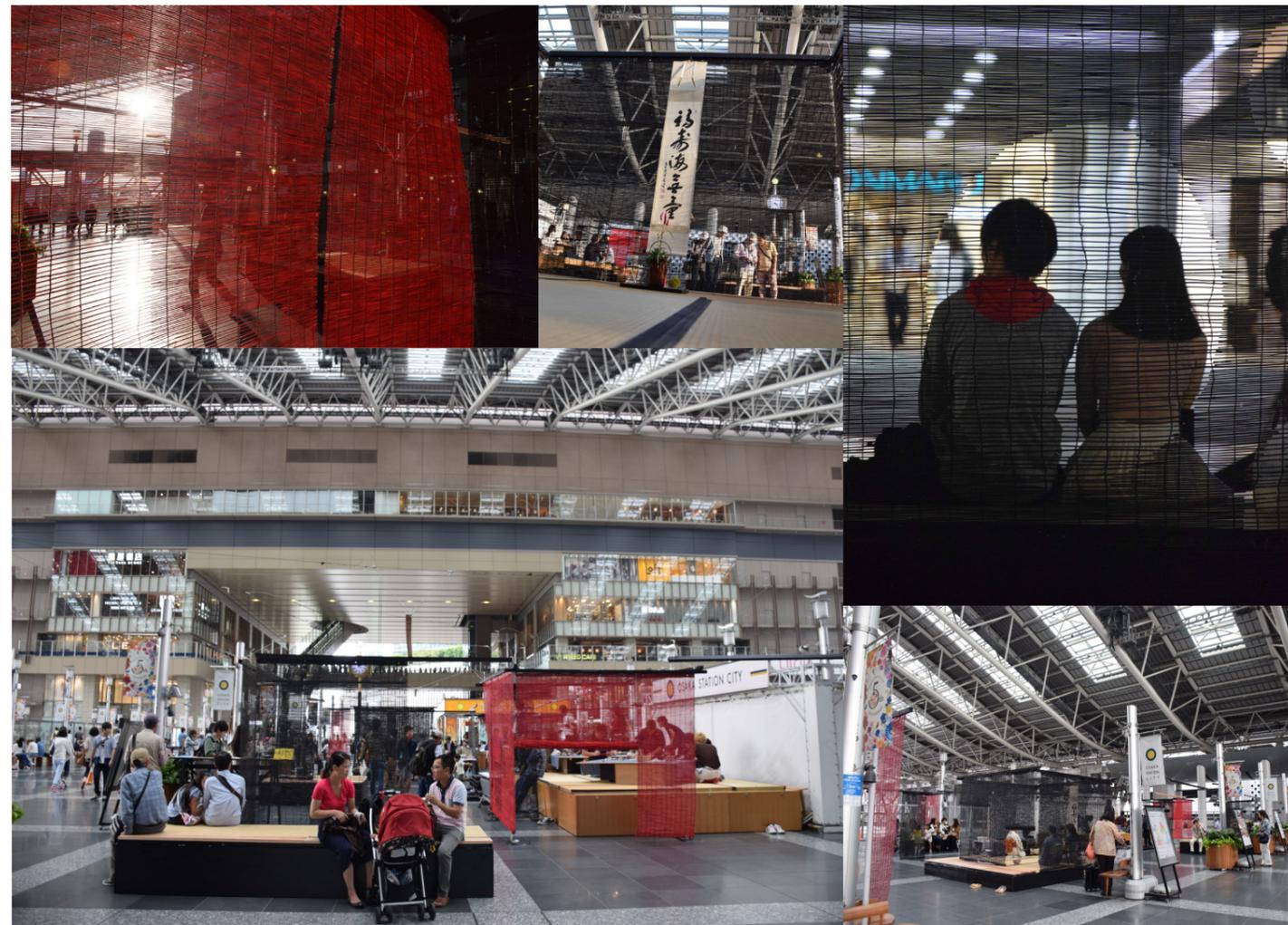
「すだれの庭」

今回はプロジェクトメンバー全員が一人1案考える宿題を出し、共有意識を図るといったことを行った。様々な案が出ていたが、6月のモックアップ講評会を経て「すだれ」を用いて都市の中に「茶室空間」を作ることが決定した。

三大学の連携、さまざまな協働

今年には関西大学・武庫川女子大学・公立鳥取環境大学の3大学で連携をして実施している。今年から提案部会を通して、建築の専門家とともに協議し、空間についての検討をした。

また、丹波の木材を使用する、茶道デモンストレーションを南花台の住民に頼むといった、他のプロジェクトでの地域の方ともつながりを持って今回の実施は実現している。



香り袋づくりWS

今年には鳥取環境大学にWSを全て任せ、この場所で五感を開花させるというコンセプトを元に因州和紙を用いた香り袋づくりWSを開催した。



茶道デモンストレーション

今回、実施期間中毎日、茶道のデモンストレーションを行った。その際に講師として同研究室が活動している南花台のコノミヤテラスにてお茶会を開いていた住民にお願いした。都市空間のど真ん中でお茶会が開かれている非日常的な空間性が生まれた。



5月

5/4 三大学合同OSCまちあるき

5/11 三大学合同OSCまちあるき

5/18 三大学合同OSCまちあるき

5/25 三大学合同OSCまちあるき

5/31 三大学合同OSCまちあるき

6月

6/20 モックアップテスト@関西大学

6/28 モックアップ講評会@時空の広場

7月

7/14 現地最終確認@時空の広場

5/11 三大学合同OSCまちあるき

5/18 三大学合同OSCまちあるき

5/25 三大学合同OSCまちあるき

5/31 三大学合同OSCまちあるき

6/20 モックアップテスト@関西大学

6/28 モックアップ講評会@時空の広場

7/14 現地最終確認@時空の広場

8月

8/14 現地最終確認@時空の広場

9月

9/12・13 三大学合同作業日@南花台

9/20 施工、そして実施

8/14 現地最終確認@時空の広場

9/12・13 三大学合同作業日@南花台

9/20 施工、そして実施



堺市プロジェクト

堺市 × 建築環境デザイン研究室 × 熱ゼミ

かざぐるまによる「堺風のまち広場」の設計

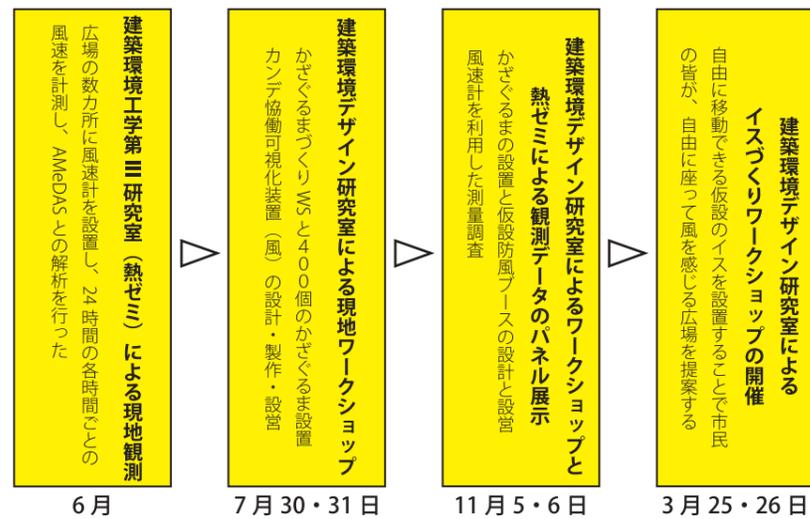
堺市プロジェクトは今年度からスタートした、関西大学堺キャンパスと堺市との協働プロジェクトである。現在の地方合同庁舎前広場を賑わいの場として市民に開放できるようなイベントを仕掛けて欲しいとの依頼を受けたことで始まった。

建築環境デザイン研究室としては、その日限りのイベントで終わらせるのではなく、「広場空間」として、心地よく人々が利用でき、また他のイベントの主催者が使いやすい設備を残すことを目的として活動を始めた。

そこで着目したのは、堺市の環境の特徴である「風」である。地方合同庁舎前広場には海からの風や、堺地方合同庁舎と堺市役所の高層ビルの足元にあることから、ビル風が強く吹き込む様だった。市役所で働く方も、各イベント主催者も、強風には悩まされているとのことだった。そこで、建築環境デザイン研究室だけでプロジェクトを進めるのではなく、建築環境工学第Ⅲ研究室と協働で風の調査を行うとともに、「風のまち広場」と称して現地での防風実験を行うことにした。

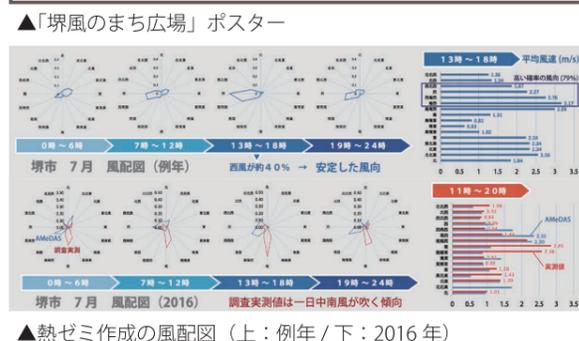
4回にわたる現地実施

季節ごとの風を調査するために計4回の現地実施を行った。継続的に関わり続けることにより、関西大学が広場で何かをしようとしていることが徐々に浸透してきている。



堺風のまちひろば

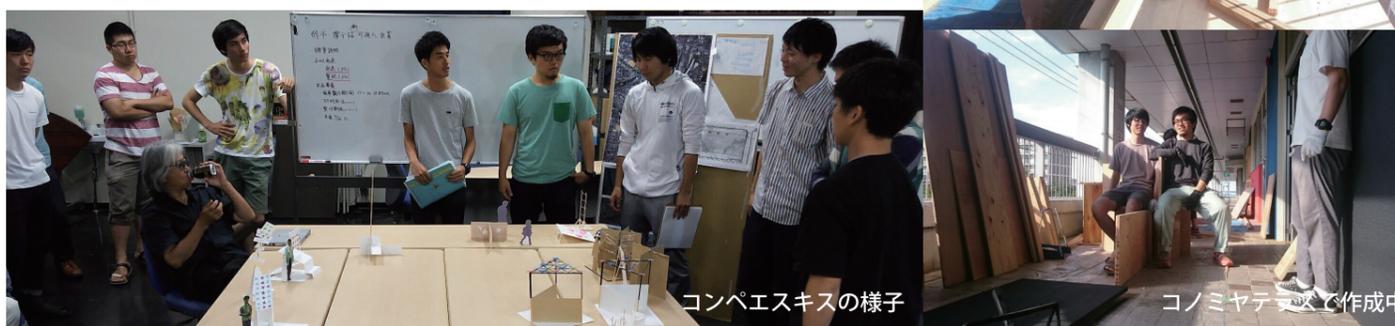
堺 Project とは、関西大学建築環境デザイン研究室が取り組む、堺市の風を調査し、堺らしいまちの魅力を広場に表すためのプロジェクトです。
海風ありビル風ありの、強い風どうしがちようどぶつかるところが合同庁舎前広場です。ここに今回かざぐるまを使った「新しい堺の風景」をつくりました。
かざぐるまが回ることで強い風、心地よい風、弱い風を目で見て、肌で感じ、「風のまち堺」を感じてみてください。
関西大学 建築環境デザイン研究室 一同



カンデ協働可視化装置（風）の設計 みんなで製作

研究室全員参加の実施コンペを開催！

使用できる材料は3つ→かざぐるま / 45mm 角材 / 24mm 厚コンパネ
研究室メンバーでペアを組んで風を生かした防風プース『カンデ協働可視化装置』を設計せよ！
構造や材料のエスキスを繰り返し、各テラスに分かれて製作を行った
部材の太さ、厚さなど、広場に設置した時の強度を想像しながら実施設計をすることができた。



7月25・26日実施 風の実験として、約500個のかざぐるまを制作・展示を行った。風を可視化し感覚的に風の強弱を捉えることを目的としている。同時にかざぐるまづくりワークショップも行い、常駐する学生と、広場訪れた方が一緒になって色とりどりのかざぐるまを制作した。



11月5・6日実施 7月の現地調査と建築環境工学第Ⅲ研究室の解析データを受け、より実験的に風の調査を行う目的で11月の現地調査を行った。7月と比べ、プースの形状をより現実的な防風壁の形状に設計し直し、また、簡易風速計を用いて時間ごと場所ごとの風速の計測を行い記録した。



2016年度の活動における協働者・団体

【咲っく南花台】

- 河内長野市 / 谷ノ上浩久、藤田晃正、内田厚、東映道、今矢麻衣子、山田浩太、山本佐知子
- 大阪府 / 廣瀬武夫、田辺博
- 株式会社タニタ / 市村祐樹、寺畑佳勇
- UR 都市機構 / 後藤成伸
- NPO 法人 SEIN/ 宝楽陸寛、甚田知世
- atelier NOAHNOOR/ 天川麻子
- 株式会社アーバンリパース / 太田隆司
- 株式会社コノミヤ
- 河内長野市立子ども・子育て総合センターあいつく
- 医療法人永広会
- 医療法人錦秀会
- 大阪大谷大学
- 大阪府森林組合ウッドベースかわちながの
- 株式会社　ゆう建築設計
- 株式会社　長尾工務店
- うのの建築事務所 / 野々山稔
- PERSIMMON HILLS architects/ 廣岡周平
- 株式会社 mondoverde/ 藤田毅
- 関西大学戦略的研究基盤団地再編プロジェクト
- 江川直樹、菊田純一、安原秀、三谷幸司、荒木公樹
- 関西大学社会学部教授 / 与謝野有紀
- 明治学院大学経済学部教授 / 服部圭郎
- 京都府まちの公共員 / 辻村修太郎
- 関西大学建築環境デザイン研究室
- 関西大学環境都市工学部建築学科
- 関西大学佐治スタジオ / 出町慎、出町綾、植地惇、関谷大志朗
- たくさんの南花台住民のみなさん

【Project OSC 「すだれの庭」】

- 建築環境デザイン研究室
- 山中晃、柴田太郎、中馬啓太、早川凌平、倉本義己、前田健吾、黒河尚明、坂口友晃、小寺沙季、森岡永遠、中村穂希、松下航大、横山哲也
- 関西大学建築学科
- 中井紘之、東浦隆介、熊野佐亮
- 武庫川女子大学
- 鶴澤佳奈、岡部美咲、斉藤奈央美、櫻井寛子、滝本泰子、福田真琴、三谷円香、山口菜生、吉田麻衣
- 公立鳥取環境大学
- 有坂拓土、磯本康裕、秋山理子、岡井美恩子、親木誠、柏木貴子、菅原麻美、高崎彩、西森悠希、吉田奈美
- 大阪ターミナルビル株式会社
- 企画部
- 岡取締役企画部長、山本課長
- 施設部
- 小島課長、臼田課長
- 営業部
- 伊藤俊司、古田直也
- 安全企画部
- 赤塚様、馬木様
- 提案部会
- 江川直樹、安原秀（OLA の会）、菊田純一（菊田建築計画研究所）、三谷幸司（三谷都市建築設計室）、荒木公樹（空間計画（株））
- 木材提供
- 足立成人（イクジウッド（株））
- 茶道デモンストレーション協力
- 鬼塚政子、鬼塚陽子をはじめとする協力してくださった皆様

- 家台づくりプロジェクト -

- 関西大学奨学支援グループ
- 河内長野市
- 南花台自治協議会
- 南花台まちづくり会
- 健全育成会
- コノミヤ南花台店
- 大阪府森林組合ウッドベースかわちながの
- スリランカダイニング　アマヤ
- 南花台住民
- 牛田匡昭、牛田朱、朝野久美子、朝野美桜、朝野芽依、福島弘樹、福島朋樹、福島里菜、青山ルミ、青山修大、友成良子、友成心音、友成心香、柴崎竜右、柴崎凜、中野朝子、中野恵那、昆布隆行、昆布聖織、昆布隆汰、横井理恵子、横井陽香、阿草進治、旭繁、石原武、今須富士雄、宇根岡暁、阪本博美、千原幸英、椿慎三、野口潤三、牧芳宏、高野良作、中林幸一、宮西幹夫、向平健伸、森口眞典
- 関西大学学生
- 銅田匠馬、柴田太郎、中馬啓太、山中晃、倉本義己、阪井勇樹、竹谷龍馬、早川凌平、黒河尚明、小寺沙季、森岡永遠、村上真央、中村補希、長峯佳代、二川菜奈

- 八幡市支援学校
- 学校地域支援本部
- 社会教育委員
- NPO 法人ホームズビー
- UR 都市機構 DIY 部
- 京都府建築士会
- 男山やってみよう会議メンバー
- だんだんテラス利用者のみなさま
- おひさまテラス
- 穂の時間

- 住戸改修 -

- 関西大学建築環境デザイン研究室
- 大田美奈子、松原一樹、松下航大
- 独立行政法人都市再生機構
- KSDP 提案部会
- 江川直樹、安原秀（OLA の会）、菊田純一（菊田建築計画研究所）、荒木公樹（空間計画（株））
- 出町慎、関谷大志朗、植地惇
- 辻村修太郎（地域コーディネーター / 京都府公共員）
- 永和建設
- トッテンハウス

【佐治スタジオ】

-ATACOM7-

- 関西大学佐治スタジオ
- 出町慎、出町綾、植地惇、関谷大志朗
- 建築環境デザイン研究室
- 銅田匠馬、橋本祐紀、山中晃、阪井勇樹、中村穂希、小寺沙季
- 関西大学建築学科
- 熊野佐亮、新島祐介、二川菜奈、古久保有香、前田丈、白原凌二、太田雅己、柳瀬明日香、田中凌平、富江満貴、藤居省吾、湯智弘、鴨川絢美、松田沙稀、京極景子、國江咲帆、堀智哉、三上秀大
- 摂南大学
- 柳瀬明日香
- 関西大学建築学科教授 / 江川直樹
- LEM 空間工房代表 / 長町志穂
- 丹波市役所有志（浴衣の提供）
- 土井恵介（ガレージの提供）
- 中央地区自治会振興会
- やすら樹
- 成松ロイヤルクラブ
- 桶を貸して頂いた皆様
- 籠を貸して頂いた皆様
- 自転車を貸して頂いた皆様
- 脚立を貸して頂いた皆様
- ツクリモノ制作お手伝い

- 早川凌平（関西大学）、山下優樹、中尾さん
- 空き容器提供協力

- 大学の用務員さん、赤井さん、赤星さん、山下商店、グループホームもあ、足立さん、今西さん、上田さん、植田さん、梅谷さん、上野さん、植野さん、太田さん、大村さん、荻野さん、金子さん、川口さん、北野さん、窪田さん、小谷さん、小南さん、小森さん、篠崎さん、田辺さん、谷川さん、谷本さん、谷垣さん、堂東さん、ときわ堂、中尾さん、西田さん、橋本さん、長谷川さん、廣瀬さん、藤原さん、藤平さん、細見さん、丸茂さん、武蔵、村上さん、安井さん、荻野さん、山本さん、吉積さん

【堺市プロジェクト】

- 開催日：2016年7月30～31日
- 2016年7月30～31日
- 2017年3月25～26日

- 建築環境デザイン研究室のみなさん
- 大阪府
- 堺市

- 関西大学建築学科
- 木村岳、中井紘之、東浦隆介、好田一貴
- 建築環境工学第Ⅲ研究室（熱ゼミ）
- 西村厚太郎
- 堺市都心まちづくり課
- KADOKAWA
- 南花台のみなさま（かざぐるま製作）
- 特定非営利法人八木まちづくりネットワーク
- 愛宕祭奉賛会
- 奈良県立医大チーム PRE ドクターズ
- 八木地域の皆様

- 建築環境デザイン研究室
- 前田健吾、村上真央、大志万和也、奥田隼也、小林凌、長峯佳代、松下航大
- 関西大学環境都市工学部
- 奥田泰司、右山将吉、宇高裕介、小久保尚輝、中川智雅

【そして、ここに書ききれない見守ってくださったたくさんの方々】

-10周年-

- 佐治スタジオに来たことがあるすべてのみなさま
- 佐治倶楽部の方々
- 佐治スタジオのスタッフ一同
- 丹波市にお住まいの方々
- 丹羽市役所住まいづくり課の方々
- 関西大学 OB,OG の方々
- 関西大学教員の方々
- 関西大学理工系オフィス

- 地域交流ワークショップ -

- 道野初美
- 福塚規子
- 丹波布技術保存会
- 丹波布伝承館
- 太田嘉久
- 足立英二
- 足立光義
- 横山真弓
- 佐治倶楽部の方々
- 佐治スタジオのスタッフ一同
- 関西大学理工系オフィス
- さじっこ倶楽部のみなさん

- 田万川テラス -

- 佐治スタジオのスタッフ一同
- 岩田眞砂子
- 井筒一彦
- (株) ナイスコーポレーションの方々

- 佐治農園 -

- 足立則夫
- 佐治倶楽部の方々
- 佐治スタジオのスタッフ一同
- 丹波市にお住まいの方々